

基本施策6

多様な学びや 運動・スポーツ活動の推進

人生100年時代*の到来といわれ、学びやスポーツ等の目的や形態などが一層多様化してきている。また、市民がそれぞれの置かれた立場や境遇によって、学びの方法や質、量の違いが生じている。この現状を把握し、自主的に行う様々な能動的な学びの環境づくりを進め、参加と学びの循環を作り出すことで、成熟した生涯学習社会の実現を目指す。同時に子どもの学校外での学習等の活動の充実を図っていく。

市内の文化財については適切な収集・保管を行い、歴史公文書については管理・活用を進める。図書館では読書ならではの楽しさや喜びを提供するとともに、知りたいことや課題解決を支えるサービス提供を一層進める。

市民が自由に気軽に運動・スポーツに親しめる環境整備や機会の提供を行い、運動・スポーツが持つ様々な効果や価値を通して、より豊かな市民生活の実現を目指す。

1 生涯のライフステージを通じた学習活動の充実

社会環境の変化により多様化する市民の学びのニーズに対応するため、社会教育関係団体、武蔵野地域五大学*等をはじめとする多くの活動主体による環境を活用して、誰もが学ぶことを楽しめるよう、学びはじめの機会、学びを深めるための機会を提供する。生涯学習情報の多様な検索方法を提供するため市公式SNS等を活用し、講座実施においてはオンラインやオンデマンド配信の取組みを継続する。

生涯学習支援と市民活動支援の拠点である武蔵野プレイス*において、市民会館、コミュニティセンター等とも連携することにより、様々な生涯学習と市民活動の橋渡しを図る。市民が学んだ成果を発表し交流する場である市民文化祭、サイエンスフェスタ、市民活動団体企画講座等の、「学びおくりあう」*機会づくりを推進する。

昭和59（1984）年度の建築から約40年が経過した市民会館の大規模改修を行う。

また、子どもたちが学びや活動を深め、広げることができるよう、学校教育と調整を図りながら、土曜学校*等の事業を実施していく。



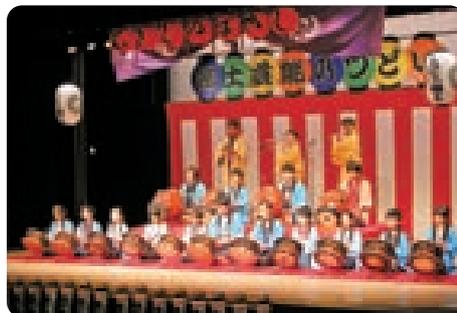
サイエンスフェスタ

2 文化財や歴史公文書の保護と活用

文化財保護法に基づき、文化財指定を推進するとともに、文化財の保護・普及のための調査・研究を行う。また文化財の活用を通して、市の歴史、文化に関する市民の理解を更に深める。収蔵資料の価値づけ、収蔵場所の検討や新たに創設した市登録文化財制度*の活用を含めた、文化財保護の取組みを進める。

公文書専門員*の継続的配置により歴史公文書の適切な管理を行う。また、デジタル化の取組みや情報発信等により歴史公文書の利用促進を図る。

武蔵野ふるさと歴史館*は、市の歴史文化を次世代に伝える活動の拠点として、シビックプライド*を醸成する役割をさらに果たしていく。各種講座等を通じて生涯学習としての学びを推進するとともに、武蔵野市の歴史の調査、研究を引き続き行い、その成果を積極的に市民へ発信する。



むさしのばやしチビッコ教室

3 図書館サービスの充実

令和2(2020)年度に中央図書館を市が直接管理運営する方針を定めたことから、図書館職員の専門性の増強が必要である。図書館人材育成計画に基づき司書講習への職員派遣や(公財)武蔵野文化生涯学習事業団*との相互派遣を行うなど、多様な経験を蓄積し、図書館行政を担う職員の専門性向上を図っていく。

また、庁内の各部署や市民活動団体等と図書館の連携を進め、地域の課題解決に図書館の資源を活用できるよう取り組む。

来館困難者への図書館サービスについては、電子書籍サービス等を拡充し利便性の向上を図る。

子ども読書活動については、乳幼児期からの切れ目のない読書活動や連携事業を推進する。また、学校への図書館資料貸出の拡充をはじめ、公共図書館として可能な学校図書館の支援を行う。さらに、司書体験や各種ワークショップなど、ヤングアダルト*をターゲットとした企画事業を行い、幅広い子ども読書活動の推進を図る。



司書体験ワークショップの様子

4 市民の誰もがスポーツを楽しめる環境の整備

国際スポーツ大会のレガシー*を生かし、性別、年齢、障害の有無などを問わず、市民の誰もがスポーツを楽しむ豊かな生活を送り続けられるための取組みを進める。さらに、アーバンスポーツ*やデジタルを活用したスポーツなどの新たなスポーツとの出会いの創出や、トップアスリートとの交流など、これまで以上のスポーツの楽しみ方を提供する。また、市内民間企業やスポーツ関連団体等との役割分担や連携の強化を図り、スポーツの場の提供、指導のノウハウや人的支援等、スポーツ環境の充実を図る。

市民スポーツの拠点である総合体育館は、今後も多くの市民に利用され、多様なスポーツ文化を創出できるよう、大規模な改修工事を行う。市営プールについては、現在の課題を解消しつつ、さらなる市民のスポーツ推進を図るため、屋外プールの廃止を支持する市民アンケート*の結果も考慮し、誰もが利用しやすいプールの充実を検討する。

旧桜堤小学校跡地は、隣接する市立学校の改築等整備状況を勘案し、当面は近隣の小中学校の校庭等として活用する。